

※このメールに返信すると連絡がとれますので、御用の際は、お気軽にお申し付けください。



# 須黒会計インフォメーション

平成21年12月号



## I | N | D | E | X |

1. 【経営情報】 **経営計画が何故必要か**
2. 【会計税務】 **年末調整・・・配偶者控除・扶養控除の留意点**
3. 【ヒント・ヒント】 **人間の脳**
4. 【税務メモ】 **12月の税務メモ**



1. 【経営情報】 **経営計画が何故必要か**



### 「経営計画」が何故必要か！

前月号で、「経営理念」とは「企業の価値観であり、すべての判断基準である」ことを述べました。

しかし、いくら素晴らしい経営理念や、素晴らしい人材が揃っていても、何もしなくて企業は成長しないし、継続して利益は出し続けられません。

「経営理念」で企業の目的は、明確となりました。

次に、その目的をかなえるために必要なのが目標であり、目標を達成するためにどんな手段を講じるかを明確にしなくてはなりません。

その目標や手段を具体的に表現したものが「経営計画」です。

経営計画と聞いてあなたは、

「またか、どうせ実現するはずはない」

「ただの数字の羅列をしても、売上なんて上がらない」

と思いませんか。

何回かチャレンジしても、結局計画倒れになってしまい、諦めてしまった経営者の方も多くいらっしゃると思います。

では、なぜ継続してできなかったか？

なぜ、計画倒れに終わってしまい、やる気がなくなってしまったのか？

実は、心の中では「本当は経営計画は必要だし、出来るものならやりたい」とお考えの経営者が多くいるのです。

そこで今回は、「経営計画の必要性」「経営計画の立て方」「経営計画の成功するポイント」についてお話していきたいと思います。

本題に入る前にまず、「経理」と「財務」の本当の意味について考えてみます。

ジェームズアレンの著書に「原因と結果の法則」がありますが、

結果には、すべて起因する原因があるのです。

結果は、偶然に起こったものではなく、必然的に起こったのです。

経営での結果は、数字に表されます。

経理の目的は、毎月の売上や経費を集計して試算表を作ること。

では、何のために試算表を作っているのでしょうか。

税務署に申告するため。業績を見るため。

それだけでしょか？

経理という字を分解してみましょう。

**経理とは、「経営の管理」です。**

先ほども言いましたが、経営の結果は数字に表れます。

経理は過去のことです。経理は結果のことです。

現在は必ず過去になります。

現在の行動が原因となって、必ずこの先に過去となり、数字として結果がでるのです。

そして、その結果を数値として集積したものが試算表です。

試算表には、自社の売上や経費の傾向、人材成長、営業強化の度合、行動パターンなどが集積、蓄積され、経営指針としての大切なデータとなります。

未来を創造し目的を達成するためには、自己分析が必要です。

自分がどこに立っているのか、これから何をを目指すのか、そのために何が足りないのか、何をしなければいけないのか、何が必要で何を捨てるのか。



本人または同一生計親族と同居している人をいいます。

#### ◇扶養控除

扶養控除がある場合には、扶養控除の適用を受けることができます。

扶養親族とは、12月31日の現況において、生計を一にしている親族(六親等内の血族および三親等内姻族で、配偶者を除きます)等で、本年分の合計所得金額が38万円以下の人をいいます。

ただし、青色事業専従者として青色所得者から給与の支払いを受ける人、白色事業専従者、他の人の控除対象配偶者や扶養親族とされている人は除かれます。

扶養控除額は、一般の扶養親族については一人につき38万円(同居特別障害場合、73万円)、特定扶養親族については一人につき63万円(同居特別障害者の場合、98万円)、

老人扶養親族のうち同居老親等については一人につき58万円(同居特別障害者の場合、93万円)、その他の老人扶養親族については一人につき48万円(同居特別障害者の場合、83万円)です。

なお、特定扶養親族とは、扶養親族うち年齢16歳以上23歳未満の人(平成21年分については、昭和62年1月2日から平成6年1月1日までに生まれた人)をいい、老人扶養親族とは、

扶養親族のうち年齢70歳以上の人(平成21年分については昭和15年1月1日以前生まれの人)をいいます。

また、同居老親等とは、老人扶養親族のうち、本人または配偶者の直系尊属で、本人または配偶者と同居している人をいい、同居特別障害者とは、特別障害者で本人または同一生計親族と同居している人をいいます。



### 3. 【ヒント・ヒント】 人間の脳



この世の中の科学やビジネスはすべて人間の脳が考え出したもの。

能の使い方人間は130%の力を発揮できる、という林成之脳外科医。

要は人間を好きになること。

好きという感情が脳を刺激し、生産性が向上すると、日大医学部附属板橋病院救命救急センター世界的にも有名な精鋭集団に改革し、画期的な脳低温療法を生んだ。

ここのスタッフには四つの約束をさせている。

1. 前向きで明るい性格でいる。
2. 仲間の悪口を言ったり意地悪をしたりしない。
3. 人とのコミュニケーションを考え面倒見のいい人格を持つ。
4. できない、難しい、疲れたなど否定的な意味の言葉を使わない。

JMAマネジメントレビュー所載。

